

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公開番号】特開2008-4297(P2008-4297A)

【公開日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2006-170336(P2006-170336)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/52 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/52 3 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ケーブルの端部に固着された第 1 コネクタと、この第 1 コネクタが着脱自在に接続される第 2 コネクタと、これら第 1 コネクタと第 2 コネクタとの接続部を覆うカバーとからなる防水型コネクタであって、

第 1 コネクタには、ケーブルの軸方向と直交する方向において第 1 シール面及び第 2 シール面が形成され、

第 2 コネクタには、その外周面に雄ネジ部が形成されると共に、第 1 コネクタの第 1 シール面に対向するシール面が形成され、

カバーには、その内周面に雌ネジ部が形成されると共に、第 1 コネクタの第 2 シール面に対向するシール面が形成され、且つ、

第 1 コネクタの第 1 シール面と第 2 コネクタのシール面との間に第 1 シール部材が配設されると共に、第 1 コネクタの第 2 シール面とカバーのシール面との間に第 2 シール部材が配設された状態で、第 2 コネクタの雄ネジ部とカバーの雌ネジ部とが螺合され、更に、

第 1 コネクタ及び第 2 コネクタのそれぞれが金属製のコネクタ部に固着された樹脂部材を備えると共に、第 1 コネクタの第 1 シール面及び第 2 コネクタのシール面が、それぞれの樹脂部材に形成されていることを特徴とする防水型コネクタ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の防水型コネクタであって、

第 2 コネクタが金属製のコネクタ部に固着された樹脂部材を備えると共に、この樹脂部材にカバーの雌ネジ部と螺合される雄ネジ部が形成され、且つ、カバーが第 2 コネクタの樹脂部材と同色の樹脂で形成されていることを特徴とする防水型コネクタ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の防水型コネクタは、ケーブルの端部に固着された第 1 コネクタと、この第 1 コネクタが着脱自在に接続される第 2 コネクタと、これら第 1 コネクタと第 2 コネクタとの

接続部を覆うカバーとからなる防水型コネクタであって、第 1 コネクタには、ケーブルの軸方向と直交する方向において第 1 シール面及び第 2 シール面が形成され、第 2 コネクタには、その外周面に雄ネジ部が形成されると共に、第 1 コネクタの第 1 シール面に対向するシール面が形成され、カバーには、その内周面に雌ネジ部が形成されると共に、第 1 コネクタの第 2 シール面に対向するシール面が形成され、且つ、第 1 コネクタの第 1 シール面と第 2 コネクタのシール面との間に第 1 シール部材が配設されると共に、第 1 コネクタの第 2 シール面とカバーのシール面との間に第 2 シール部材が配設された状態で、第 2 コネクタの雄ネジ部とカバーの雌ネジ部とが螺合され、更に、第 1 コネクタ及び第 2 コネクタのそれぞれが金属製のコネクタ部に固着された樹脂部材を備えると共に、第 1 コネクタの第 1 シール面及び第 2 コネクタのシール面が、それぞれの樹脂部材に形成されていることを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明の防水型コネクタは、ケーブルの端部に固着された第 1 コネクタと、この第 1 コネクタが着脱自在に接続される第 2 コネクタと、これら第 1 コネクタと第 2 コネクタとの接続部を覆うカバーとからなる防水型コネクタであって、第 1 コネクタには、ケーブルの軸方向と直交する方向において第 1 シール面及び第 2 シール面が形成され、第 2 コネクタには、その外周面に雄ネジ部が形成されると共に、第 1 コネクタの第 1 シール面に対向するシール面が形成され、カバーには、その内周面に雌ネジ部が形成されると共に、第 1 コネクタの第 2 シール面に対向するシール面が形成され、且つ、第 1 コネクタの第 1 シール面と第 2 コネクタのシール面との間に第 1 シール部材が配設されると共に、第 1 コネクタの第 2 シール面とカバーのシール面との間に第 2 シール部材が配設された状態で、第 2 コネクタの雄ネジ部とカバーの雌ネジ部とが螺合され、更に、第 1 コネクタ及び第 2 コネクタのそれぞれが金属製のコネクタ部に固着された樹脂部材を備えると共に、第 1 コネクタの第 1 シール面及び第 2 コネクタのシール面が、それぞれの樹脂部材に形成されているものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】